

2023 IARU HF ワールドチャンピオンシップコンテストに参加して 8N2HQ 20m SSB

浜松 DX 愛好会

JE2DZC

伊藤 章哲

2023 年 5 月中旬のこと、ローカルの OM、小田さん（JH2BNL）から電話を頂きました。7 月にコンテストがあるから出ないか？という内容でした。その時はどんなコンテストかもわからず、気軽に Ok！と返事をしたのを覚えています。私自体、本格的にコンテストに参加したことがありません。しいて言えば、オリンピックの記念局を電信でサービスしたり、レア局狙いでコンテスト呼びまわりぐらい。いつもは DX をマイペースで楽しんでいる程度ですので一抹の不安はありましたが何とかなるだろうと思っていました。

6 月も中旬を過ぎ、鈴木さん（JA2IVK）からも電話を頂きました。どうやら、N1MM というコンテスト用のロギングシステムを使って本格的に参加するようになりそうだとの事。その為、事前にオペレーターが集まって使用方法の説明会を行う事、全エリアの HQ 局を VPN (Virtual Private Network) で繋げて合算でスコアが集計されるので頑張らなければいけない。そんな説明を受けました。

これは大変、お遊び気分ではいけません。早速、N1MM をインストールして練習、インストラクションを読んでみましたが今一つ不安が残ります。あとは本番でなんとかなるかな？ というレベルで臨みました。

コンテスト局のコールサインは、8N2HQ、運用周波数は 14Mhz の SSB のみ。SSB はあまりやらない私としては少々不安です。本番は 7 月 2 週目の土日、7 月 8 日 21 時 JST からスタートです。鈴木さんの山の上の素晴らしいシャックから 1KW で参加します。オペレーターは総勢 12 名、それぞれ 1 時間あるいは 2, 3 時間交代での参加です。

当日は 18 時からバーベキューでオペレーター相互の親睦会。雨が降りそうな天候でしたが美味しいお肉等に舌鼓をうちながら談笑。もちろんアルコールは抜きで臨戦態勢でした。鈴木さんの別宅シャックは素晴らしいロケーションです。山のてっぺんに LUSO のクランクアップタワー、アンテナは Step IR の DB42 プラスアルファ。後はコンディションが良いことを祈るだけです。



BBQ も終わり、そろそろ開始の時間です。ファーストオペレーターはコンディションが悪いようで苦戦しておりした。国内の局も呼んでくれるのですがかなりの QSB、苦勞している様でした。

私は初日の 2 番目、22-23 JST の 1 時間を担当しました。聞いてみるとやはり最悪のコンディション、W に向けても EU に向けて CQ を出してもなかなか応答がありません。その上、JA の信号はスキッターでくるのかかなりの QSB を伴って入ってきます。フルコピーするのに時間がかかります。途中、W 方面の方がまだましと判断、ビームを W 方面に修正。時折、強力なコンテスト常連局が呼んでくれます。やはり強い信号だとスムーズに進みます。それでも CQ マシーンの空振りは続きます。



目標として頂いた、1500QS0 は届くのか？そんな事を考えていたらすでに 23 時。次のオペレーターに更新して一服、まだまだコンディションは上がらないようです。自分のオペレートが終わって感じたことですが、コンテストは意外と面白いという事です。いつもは DX のパイルに参加する側なのですが、呼んでくる局を捌いてログに入力。時には、がんばってねー、との声援を頂くことがあったり、旧知の友人が呼んでくれたり。楽しいですね！
次回、何かのコンテストに参加してみようかな？
そんな気持ちになりました。



参加者 JH2BNL, JR2AUE, JR2WER, JR2NII, JA2VBK, JK2ITS, JI2KXK, JA2KVD, JE2DZC, JI2UAY, JA2IVK, JE2WWE

スコアは

756 QS0 2186 Pts 15 ITU 23 HQ でした。

コンディションに恵まれず、756 QS0 に終わりましたが、不慣れなオペレータでの参加としては上出来だと自負しております。



尚、公開運用も行い見学者 JE2HCS（山下義保氏）及び他（鈴木滋氏）の参加がありました事をご報告申し上げます。

最後になりますが、快くシャックを開放してくださった鈴木さん（JA2IVK）、オペレーターの皆さんに心より御礼を申し上げます。